



新春 市長・理事長対談 三原のまちづくりを占う!

二・三面

写真提供 藤原 敏明 氏



第48代理事長
盛 影
新年明けましておめでとうございます。二〇〇九年の年頭にあたり、この一年が皆様方にとりまして最良の年でありますよう心からお祈り申し上げます。また、旧年中は(社)三原青年会議所に對し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、皆様は他人のことを考へるゆとりを持つてゐるでしょうか。他人のことを自分のことのように大切に思へたら、自分はもつと周りから愛され、必要とされる存在になるでしょう。そして、一人ひとりが自らを取り巻く様々な環境に関心を寄せれば、地域は日本は、さらに世界は良くなると思います。

しかし、時間にゆとりも無く、他人のを見てもそのまま見過ごし、自分さえ良ければとりあえず良いというのが現実です。ましてや、現在の私たちを取り巻く環境は一段と厳しく、先行きの見えない閉塞感を感じる経済状況の中、我々青年会議所会員も中小零細企業の経営に携わる青年経済人の一人であり、他人のことを自分のことのように大に思ひ、様々な環境に関心を寄せる余裕さえなくなっているのも現実です。このような時代だからこそ、青年会議所会員一人ひとりに更なる「挑戦」が求められていると考えます。

始動 つよくなるために

私は青年会議所活動を通して自ら成長途上にあると感じている一人です。

我々は何事にも諦めず、目的が達成するまで最後までやり遂げるつよい意思をもつて取組む姿勢を持っています。小さな活動や地味な活動でも最後まで諦めない姿勢をいすれば地域の人たちが認め、そして家族や我々を送り出す会社からも認められる。そして、そんな活動をしている我々の背中を見て地域の子どもたちがこんな大人になりたいと憧れる。そんな、我々の日頃の活動こそが青年会議所会員一人ひとりのつよい説得力を生むのです。

あわせて、我々全ての活動をささえる、経済的な後ろ盾のつよさも必要になるのです。

我々はつよくなる必要があるのです。それが「明るい豊かなまちづくり」につながります。本年度も、昨年度同様各委員会、そして会員一人ひとりが市民の意識を変革できるよう様々な活動(事業)を繰り広げてまいります。そして、我々の弛まぬ努力と搖ぎないつよい信念に基づいた青年会議所活動こそが、我々の目指す「市民意識変革運動」に繋がるものと考えます。

これらの積極的な推進が、私にとって、第四十八代理事長としての最大の使命であると考えます。十五年の青年会議所活動の経験と、自らが青年会議所と出会い変革した我が身をもつて、自分自身の誇りにかけ、自信に満ち溢れたつよい説得力と指導力を發揮し、始動させていただきます。

ふたかきいたか

◆「強さが無ければ、やさしくない」という言葉を耳にすることがあります。また逆に「やさしさが無ければ、強くなれない」とも言う人もいる。「やさしさ」とは人や物への思いやりや許容する気持ちだと思うのですが、人との「強さ」とはいったい何なのだろう。◆単純に「力(ちから)」だけではないはずだ。優れた技術や豊富な知識というのもあれば、多少のことでは動じない何ごとにあらざる「強さ」を身につけられるのだろうか。◆二〇〇八年という年を振り返ってみると、狭い世界での人ととの関わり方しか知らないまま「強さ」を身につけられなかつたことを周りのせいにし、何の関わりも無い人たちに迷惑をかけるだけでなく、生命をも奪ってしまう出来事がたくさん起きたような気がする。◆また、普通の人たちよりも「強さ」を持っているはずの政治家や投資家たちが、目先の利益を優先するあまりに「やさしさ」のかけらも見せずに突っ走ってしまったため、私たちの生活にも影響を及ぼすような様々な混乱を招いたことも思い出される。

◆人は生まれながらにして「強さ」を持つてはいるわけではない。様々な人と関わる中で、多くの経験を繰り返して「強さ」というものを身につけたのではないか。そして、「やさしさ」も兼ね備えているはずである。◆一人ひとりが身近な人たちに「やさしさ」を持って関わりもってゆくだけで「強さ」を身につけた人であふれてくるだろう。そうすれば今の混乱した世界は変わることのない「強さ」を持つて動き始めてみませんか。